

平成 25 年度 大栄経理学院

第 134 回日商簿記検定試験 模範解答

3 級

商 業 簿 記

第 1 問 (20 点)

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	備品減価償却累計額	95,000	備 品	240,000
	減 価 償 却 費	12,500		
	未 収 金	80,000		
	固 定 資 産 売 却 損	52,500		
2	前 受 金	30,000	売 上	330,000
	受 取 手 形	200,000		
	売 掛 金	115,000	現 金	15,000
3	当 座 借 越 金	150,000	現 金	180,000
	当 座 預 金	30,000		
4	通 信 費	35,000	普 通 預 金	35,000
5	売 上	120,000	売 掛 金	120,000

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点
(配点は、当学院の予想です)

第 2 問 (10 点)

1.

商 品 有 高 帳

(移動平均法)

商 品 A

平成 25 年		摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
5	1	前 月 繰 越	100	200	20,000				100	200	20,000
	7	仕 入	100	210	21,000				200	205	41,000
	10	売 上				80	205	16,400	120	205	24,600
	14	仕 入	80	215	17,200				200	209	41,800
	20	売 上				100	209	20,900	100	209	20,900
	27	仕 入	50	212	10,600				150	210	31,500
	30	売 上				70	210	14,700	80	210	16,800

2.

(1) 売上総利益 ¥ 44,450 (2) 次月繰越高 ¥ 17,050

1 つにつき 2 点 合計 10 点
(配点は、当学院の予想です)

第 3 問 (30 点)

合 計 残 高 試 算 表

平成 25 年 5 月 31 日

借 方		勘 定 科 目	貸 方	
残 高	合 計		合 計	残 高
465,000	1,215,000	現 金	750,000	
496,500	2,260,000	当 座 預 金	1,763,500	
140,000	480,000	受 取 手 形	340,000	
214,000	1,055,000	売 掛 金	841,000	
250,000	250,000	繰 越 商 品		
300,000	300,000	備 品		
	300,000	支 払 手 形	430,000	130,000
	844,500	買 掛 金	905,000	60,500
	5,000	預 り 金	6,000	1,000
	300,000	借 入 金	900,000	600,000
		資 本 金	1,100,000	1,100,000
	61,000	売 上	2,395,000	2,334,000
1,760,500	1,785,000	仕 入	24,500	
370,000	370,000	給 料		
187,500	187,500	支 払 家 賃		
30,000	30,000	水 道 光 熱 費		
12,000	12,000	(支 払 利 息)		
4,225,500	9,455,000		9,455,000	4,225,500

売 掛 金 明 細 表

	5 月 25 日	5 月 31 日
神奈川商店	¥ 150,000	¥ 134,000
埼玉商店	100,000	80,000
	¥ 250,000	¥ 214,000

買 掛 金 明 細 表

	5 月 25 日	5 月 31 日
千葉商店	¥ 90,000	¥ 31,000
茨城商店	60,000	29,500
	¥ 150,000	¥ 60,500

1 つにつき 3 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

第 4 問 (10 点)

①	②	③	④	⑤
出 金	27,000	売 掛 金	振 替	売 掛 金

各 2 点 合計 10 点
(配点は、当学院の予想です)

第5問 (30 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		修 正 記 入		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	55,700						55,700	
当 座 預 金	196,300						196,300	
受 取 手 形	355,600						355,600	
売 掛 金	571,400			7,000			564,400	
売買目的有価証券	158,000			12,000			146,000	
繰 越 商 品	293,000		270,000	293,000			270,000	
建 物	2,500,000						2,500,000	
備 品	900,000						900,000	
支 払 手 形		368,100						368,100
買 掛 金		225,900						225,900
借 入 金		1,200,000						1,200,000
貸 倒 引 当 金		14,500	7,000	20,100				27,600
建物減価償却累計額		750,000		75,000				825,000
備品減価償却累計額		300,000		150,000				450,000
資 本 金		1,902,500						1,902,500
売 上		4,415,000				4,415,000		
受 取 手 数 料		36,000		12,000		48,000		
受 取 配 当 金		12,000				12,000		
仕 入	2,823,000			2,823,000				
給 料	1,139,000				1,139,000			
消 耗 品 費	67,000			5,000	62,000			
支 払 保 険 料	129,000			86,000	43,000			
支 払 利 息	36,000		18,000		54,000			
	9,224,000	9,224,000						
売 上 原 価			293,000	270,000	2,846,000			
			2,823,000					
貸倒引当金(繰入)			20,100		20,100			
有価証券評価(損)			12,000		12,000			
減 価 償 却 費			225,000		225,000			
(消 耗 品)			5,000				5,000	
(未 収) 手 数 料			12,000				12,000	
(前 払) 保 険 料			86,000				86,000	
(未 払) 利 息				18,000				18,000
当 期 純 (利 益)					73,900			73,900
			3,771,100	3,771,100	4,475,000	4,475,000	5,091,000	5,091,000

1 つにつき 3 点 合計 30 点
(配点は、当学院の予想です)

【3 級解説】

第 1 問

1. 売却した備品については、取得から前期末まで 3 年 2 ヶ月分(38 ヶ月分)の減価償却額が「備品減価償却累計額」勘定に計上されているため、売却時点でこれを消去します。また、当期首から売却時点まで 5 ヶ月分の減価償却額は売却時に「減価償却費」勘定で計上します。

$$\text{備品減価償却累計額} : (\text{¥}240,000 - \text{¥}0) \times \frac{38 \text{ ヶ月 (3 年 2 ヶ月)}}{96 \text{ ヶ月 (8 年)}} = \text{¥}95,000$$

$$\text{減価償却費} : (\text{¥}240,000 - \text{¥}0) \times \frac{5 \text{ ヶ月}}{96 \text{ ヶ月 (8 年)}} = \text{¥}12,500$$

2. 商品販売時に、先方負担の発送費を立て替えたときは、「立替金」勘定で処理するか、「売掛金」勘定に含めます。指定された勘定科目に注意しましょう。
3. 当座預金が貸方残高になっているということは、当座借越の状態にあるということです。当座借越しがある状態で当座預金への入金があったときは、まず、当座借越を返済し、残額が当座預金に入金されます。

5. 正しい仕訳

(現 金)	120,000	(売 掛 金)	120,000
誤った仕訳			
(現 金)	120,000	(売 上)	120,000

第 2 問

商品有高帳は、商品在庫を把握する帳簿であり、金額はすべて原価によって記入されます。

商 品 有 高 帳											
(先入先出法)			商品 A								
日	付	摘 要	受 入			払 出			残 高		
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
5	1	前月繰越	100	200	20,000				{ 100	200	20,000
	7	仕入	100	210	21,000				{ 100	210	21,000
	10	売上				80	200	16,000	{ 20	200	4,000
									{ 100	210	21,000
	14	仕入	80	215	17,200				{ 80	215	17,200
	20	売上				{ 20	200	4,000			
						{ 80	210	16,800	{ 20	210	4,200
									{ 80	215	17,200
	27	仕入	50	212	10,600				{ 50	212	10,600
	30	売上				{ 20	210	4,200			
						{ 50	215	10,750	{ 30	215	6,450
									{ 50	212	10,600

純売上高 : @ ¥380 × 80 個 + @ ¥385 × 100 個 + @ ¥390 × 70 個 = ¥96,200

売上原価 : ¥16,000 + (¥4,000 + ¥16,800) + (¥4,200 + ¥10,750) = ¥51,750

売上総利益 : ¥96,200 - ¥51,750 = ¥44,450

第3問

5 月 26 日以降の取引の仕訳は以下のとおりです。

26 日	(仕 入)	125,000	(買 掛 金 (千 葉))	55,000
			(買 掛 金 (茨 城))	50,000
			(支 払 手 形)	20,000
27 日	(買 掛 金 (千 葉))	4,000	(仕 入)	4,500
	(買 掛 金 (茨 城))	500		
	(売 掛 金 (神 奈 川))	60,000	(売 上)	60,000
28 日	(売 掛 金 (埼 玉))	45,000	(売 上)	75,000
	(受 取 手 形)	30,000		
	(買 掛 金 (千 葉))	50,000	(当 座 預 金)	90,000
	(買 掛 金 (茨 城))	40,000		
29 日	(売 上)	1,000	(売 掛 金 (神 奈 川))	1,000
30 日	(現 金)	140,000	(売 掛 金 (神 奈 川))	75,000
			(売 掛 金 (埼 玉))	65,000
	(水 道 光 熱 費)	5,000	(当 座 預 金)	5,000
31 日	(給 料)	70,000	(預 り 金)	1,000
			(当 座 預 金)	69,000
	(支 払 家 賃)	37,500	(当 座 預 金)	37,500
	(当 座 預 金)	75,000	(現 金)	75,000
	(買 掛 金 (千 葉))	60,000	(支 払 手 形)	60,000
	(買 掛 金 (茨 城))	40,000	(受 取 手 形)	40,000
	(支 払 手 形)	50,000	(当 座 預 金)	50,000
	(借 入 金)	300,000	(当 座 預 金)	312,000
	(支 払 利 息)	12,000		

< 売 掛 金 元 帳 >

神 奈 川 商 店			
5/25	150,000	5/29	1,000
27	60,000	30	75,000
			(残 高 134,000)

埼 玉 商 店			
5/25	100,000	5/30	65,000
28	45,000		(残 高 80,000)

< 買 掛 金 元 帳 >

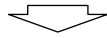
千 葉 商 店			
5/27	4,000	5/25	90,000
28	50,000	26	55,000
31	60,000		
	(残 高 31,000)		

茨 木 商 店			
5/27	500	5/25	60,000
28	40,000	26	50,000
31	40,000		
	(残 高 29,500)		

第 4 問

(1) 全体仕訳

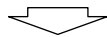
(仕	入)	27,000	(現	金)	10,000	
			(買	掛	金)	17,000



(仕	入)	27,000	(買	掛	金)	27,000 … 仕入伝票
(買	掛	金)	10,000	(現	金)	10,000 … 出金伝票

(2) 全体仕訳

(受	取	手	形)	33,000	(売	上)	40,000
(現			金)	7,000			



(売	掛	金)	40,000	(売	上)	40,000 … 売上伝票		
(現		金)	7,000	(売	掛	金)	7,000 … 入金伝票	
(受	取	手	形)	33,000	(売	掛	金)	33,000 … 振替伝票

第 5 問

資料 I

(貸	倒	引	当	金)	7,000	(売	掛	金)	7,000
----	---	---	---	----	-------	----	---	----	-------

資料 II

(1) 売上原価の算定について

(売	上	原	価)	293,000	*1	(繰	越	商	品)	293,000
(売	上	原	価)	2,823,000	*2	(仕			入)	2,823,000
(繰	越	商	品)	270,000	*2	(売	上	原	価)	270,000

売上原価勘定に期首商品棚卸高(繰越商品勘定残高)および当期商品仕入高(仕入勘定残高)を加算し、期末商品棚卸高を減算することで売上原価を算定します。

*1 期首商品棚卸高：整理前試算表の「繰越商品」勘定残高より判明します。

*2 当期商品仕入高：整理前試算表の「仕入」勘定残高より判明します。

*3 期末商品棚卸高：問題文資料より判明します。

(2) 貸倒引当金の設定について

(貸	倒	引	当	金繰入)	20,100	*	(貸	倒	引	当	金)	20,100
----	---	---	---	------	--------	---	----	---	---	---	----	--------

受取手形と売掛金の期末残高の 3%(¥27,600)を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高¥7,500 に¥20,100 を繰り入れます。

* $(¥355,600 + ¥571,400 - ¥7,000) \times 3\% - (¥14,500 - ¥7,000) = ¥20,100$

(3) 売買目的有価証券の評価替について

(有	価	証	券	評	価	損)	12,000	*	(売	買	目的有価証券)	12,000
----	---	---	---	---	---	----	--------	---	----	---	---------	--------

* $時価 ¥146,000 - 簿価 ¥158,000 = \Delta ¥12,000$

(4) 減価償却について

(減 価 償 却 費)	225,000	(建物減価償却累計額)	75,000 ^{*1}
		(備品減価償却累計額)	150,000 ^{*2}

$$*1 \quad (\yen 2,500,000 - \yen 250,000) \div 30 \text{ 年} = \yen 75,000$$

$$*2 \quad (\yen 900,000 - \yen 0) \div 6 \text{ 年} = \yen 150,000$$

(5) 消耗品について

(消 耗 品)	5,000	(消 耗 品 費)	5,000
-----------	-------	-------------	-------

決算整理前試算表に「消耗品費」勘定(費用)が計上されているため、購入時に費用処理していることが分かります。よって、決算時に未使用分を「消耗品」勘定(資産)に振り替えます。

(6) 未収手数料について

(未 収 手 数 料)	12,000	(受 取 手 数 料)	12,000
---------------	--------	---------------	--------

(7) 支払保険料について

(前 払 保 険 料)	86,000	(支 払 保 険 料)	86,000
---------------	--------	---------------	--------

$$* \quad \yen 129,000 \times \frac{8 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \yen 86,000 \quad (\text{次期 1/1 から 8/31 までの 8 ヲ月分を繰り延べます})$$

(8) 未払利息について

(支 払 利 息)	18,000	(未 払 利 息)	18,000
-------------	--------	-------------	--------